

データでみる福島再生

最近の動き

○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,346箇所のうち、635箇所では除去土壌等を保管中、711箇所では搬出が完了し、427箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・4月23日、双葉町仮設灰処理施設(その2)で発生したばいじんを、大熊1工区の廃棄物貯蔵施設に搬入し、貯蔵を開始しました。
- ・除去土壌の分別処理を行い、4月末時点で、約376万 m^3 (輸送量ベース)の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2020年4月末時点で、累積約702万 m^3 (全体の約50.2%)の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、4月末時点で契約者数1,762人、面積約1,166haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、3月末時点で、約263万トンの搬入を完了しました(うち、約46万トンが焼却処理済、約162万トンが再生利用済)。
- ・被災家屋等について、3月末時点で、約16,700件の解体撤去申請を受付済みであり、約14,700件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・3月末時点で、約112万トン(除染廃棄物を含む)を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・4月末時点で、121,975袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた事業活動の調整等を進めています。
- ・環境再生プラザで6件、その他で21件の活動を実施しました。